



2008  
第5号

SAKURA NEWS  
2008.6.1

# さくら通信

## ■新院長に成川暢彦が就任

平成20年4月1日付けで成川守彦院長の後を引き継ぎ、成川暢彦が院長職に就任いたしました。



## ■特殊疾患病棟のご紹介

当院入院受入体制の内訳は、一般病床39床・療養病床60床(内介護20床)になりますが、「特殊疾患病棟」は一般病床に分類され、本館病棟の3階に位置します。

「特殊疾患病棟」とは、いわゆる「難病」の患者さんが安心して長期入院(入院期間の制限はありません)治療を受けることができる病棟です。

入院対象疾患である「難病」とは主に、脊髄損傷等の重度障害者の方、重度の意識障害の方、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症などの神経難病を指し、それらの方を対象とした専門病棟です。

## ② 院長就任のご挨拶

院長 成川暢彦

## ③ 特殊疾患療養病棟

入院の対象となる方  
主な疾患名

## ④ 医師紹介・新入職員紹介

内科医師 西山 稔先生  
新入職員

## ⑤ 部署紹介

事務室  
内科外来

## ⑥ 新入職員研修

入社式  
新入職員研修  
院内留学

## ⑦ 地域連携室・病棟行事

地域連携室  
病棟行事



医療法人 千徳会

# 桜ヶ丘病院

## 院長就任 ご挨拶



医療法人千徳会 桜ヶ丘病院  
院長 成川 暢彦

平成20年4月1日付けで 成川守彦院長の後を引き継ぎ、院長に就任することになりました。昭和12年7月、祖母 成川千代子女医が、有田市箕島の地に内科・産婦人科を開業してから71年。そして、昭和57年5月、成川守彦理事長が桜ヶ丘病院を開設してから26年、この間、地域の皆様方のご支援と病院職員のご尽力により桜ヶ丘病院は地域医療に邁進して参りました。今後、病院の舵取りを任されたことに責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで一杯です。浅学、非力ではございますが全力で職務を全うする所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨今、「地域医療の崩壊」と呼ばれ医療業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。慢性期医療を担う当院にとっても、近い将来の介護療養病棟の廃止・医療療養病棟の削減が施行されると、私たちが行ってきた医療を、同じ環境・同じ質で継続して行うということが非常に困難になります。

しかし、困難な時代は、いつの時代も新たな可能性に満ちた時代でもあります。当院には、長年にわたり培われてきた地域の皆様方からの信頼があり、さらに優秀な人材にも恵まれています。それらの基礎をばねに、病院の指針である「市民に信頼される病院」「医療の質の向上」「魅力ある職場」を引き続いて提供していきたいと考えております。

今後は、社会福祉法人 守皓会(特別養護老人ホーム田鶴苑・愛宕苑)と共に、地域医療を担う各医療機関との病診連携と各福祉施設との連携をさらに深め、地域医療に貢献すべく職員と共に頑張っていきたいと考えています。

今後共、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

